

# 家族を守る力になりたい

# PRESS MINSHU

民主党プレス民主編集部  
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1  
電話 03-3595-9988 (代表) http://www.dpj.or.jp press@dpj.or.jp  
2012年11月15日 プレス民主号外 埼玉県第6区総支部  
準天頂衛星 rev55 版 インタビューにもとづき作成しました。  
民主党埼玉県第6区総支部 〒363-0021 桶川市泉2-11-32  
電話 048-789-2130 FAX 048-789-2117



前衆議院議員

## 大島 あつし

の活動について報告します。

1956年埼玉県生まれ。きたもと幼稚園、中丸小学校、北本中学校、京華高等学校、早稲田大学法学部卒業。日本鋼管(現JFEスチール)にて14年間勤務。その後、ソニー生命にて営業職を5年間勤める。2000年6月に民主党公募候補として衆議院初当選。元内閣府副大臣。2012年4月~総務副大臣。

## 巨大地震に備える

### 大災害時の通信インフラを担う準天頂衛星/閣議決定を実現し整備のための予算も確保

東日本大震災が発生した直後、大島は家族や知人の安否を確認するためにあちこちに携帯電話をかけたのですが、どこにもつながりませんでした。同じ体験をした方も多かったと思います。関東ならメールはかろうじて送受信できたものの、東北の被災地では通信インフラが壊滅したためにメールも通じませんでした。

しかし発災後の4月から5月頃だったと思います。内閣官房宇宙戦略本部の幹部の方から「準天頂衛星に大きなアンテナを付ければ携帯電話の

電波が宇宙に届く」という説明を受けたとき、大島は「これはいける(具体化できる)」と直感したのです。

つまり、「携帯電話のメールを用いた安否確認システムが構築できる。そして、沖合5キロ、10キロ、20キロ、30キロにそれぞれ潮位を計測するブイ(潮位計)を設置し、ブイ間の津波の速さと潮位の変化を宇宙から正確に計測できれば、押し寄せる津波の高さと時刻を正確に予測することが可能となり、湾ごとにその情報を一斉にメールで通知できる」と考えたのでした。

それまでは発災時に準天頂衛星を利用できるとは誰も思っていませんでした。大島が責任者を務める内閣部門会議に専門家を招いて何回も説明してもらうとともに、予算獲得に

向けての閣議決定について強く働きかけるなど、この構想を実現するために関係者とともに全力を尽くしました。

なぜなら、日本では1100年前の貞観地震、400年前の慶長地震、



2012年5月、東京・大手町の経団連会館で開かれた「衛星測位と地理空間情報(準天頂衛星)フォーラム」で基調講演を行いました。その際、300人を超えるビジネスマンの聴衆に、準天頂衛星の整備が閣議決定された経緯や予算の獲得、今後の準天頂衛星の方向性などについて話をさせていただきました。

さらに明治・昭和の三陸沖地震については、その前後にいずれも首都直下型地震が起きていますし、そのうち3回は東海、東南海、南海で地震が起きました。とすれば、東日本大震災が昨年起こったばかりですので、首都直下型地震あるいは津波を伴う大地震が近い将来に起こらないとも限らないからです。

東日本側	首都圏	西日本側
貞観地震 869年	相模・武蔵地震 878年 9年後	仁和地震(東海・東南海) 887年 18年後
慶長三陸地震 1611年	江戸地震 1615年 4年後	慶長地震(東海・南海・東南海) 1605年 6年前
明治三陸地震 1896年	明治東京地震 1894年 2年前	-
昭和三陸地震 1933年	関東大震災 1923年 10年前	昭和南海・東南海地震 1944-46年 11年後

過去の記録を検証すると、東日本で大きな地震が発生した前後に、首都圏で大きな地震が発生しています。

### GPSと比べて 圧倒的に高い測位の精度

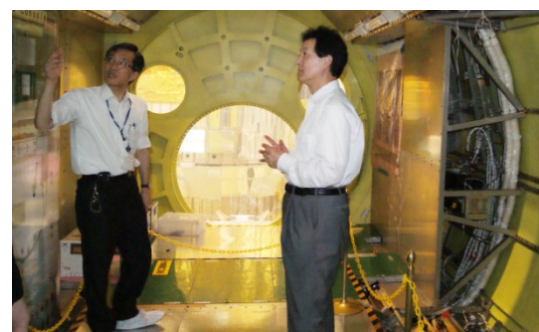
準天頂衛星とは「日本の上空の天頂付近につねに1機の衛星が位置するように軌道上に複数の衛星を配置して利用する衛星システム」のことです。衛星がつねに日本の天頂にあり、山やビル等に影響されずに全国を100%カバーすることができ、しかも高精度の衛星測位サービスを提供できます。

衛星測位サービスというと、GPS(グローバル・ポジショニング・システム)のことを思い浮かべる人も少なくないでしょう。米空軍用に開発されたGPSは今では世界中に提供されていますが、我が国でも一般のカーナビや携帯による道案内、測地・測量、天気予報などすでに幅広い分野に利用されていて、私たちの日常生活に欠かせないものとなっています。

一方、準天頂衛星の最大の特徴はGPSと比べて圧倒的に精度が高いことです。GPSの測位の誤差が約

10メートルもあるのに対し、準天頂衛星は数センチしかありません。別の言い方をすると、GPSでは宇宙から10メートルの目盛りの定規で位置を測っているのに対して、準天頂衛星なら数センチの目盛りの定規で位置を測れるということです。

このように準天頂衛星は圧倒的に精度が高いため、携帯電話との通信機能を持たせれば、その携帯電話を持った人がどこにいるかを数センチ単位の精度で把握することができます。しかも、音声での通話は難しいもののメールの送受信は可能です。



JAXA(宇宙航空研究開発機構)を訪し、日本初の有人宇宙ステーション「きぼう」について説明を受けました。国際宇宙ステーションとドッキングさせるための制御技術の高さは世界からも注目されています。

## 安否確認や津波情報の 伝達などで活用

東日本大震災では津波によって街が押し流され地理的な目印が失われてしまったところも多いのですが、この準天頂衛星があれば地理的な目印がなくても正確に場所の特定ができます。

また、携帯電話のメールの電波は準天頂衛星に届きますので、大震災が起こって他の通信インフラが壊滅した後もメールでお互いの安否確認ができます。音声通話が途絶えてもメールの送受信ができれば安心ですし、万が一、災害に遭遇してメールの送受信ができなくても、その人がどこで被災したのかもすぐに正確に分かりますので、救助に行くときにも大いに役に立ちます。

さらに冒頭で述べたように、沖合に設置したブイで津波の高さと速度を正確に予測することが可能になりますので、大地震によって津波が起こった場合、衛星から個人の携帯電話に対して「〇分後に高さ〇メート

ルの津波が到達する」というメールを一齐に送ることができるのです。

東日本大震災のときも被災地では津波警報が鳴ったのですが、警報だけでは本当に津波が来るかどうかかわからず、逃げ遅れた人も少なくありませんでした。その点、準天頂衛星なら「10分後に高さ8メートルの大津波が押し寄せる」といった具体的な情報を瞬時に出せるので、津波が来るという実感がありますし、逃げるという決断を下すことも容易になるはずで

## 閣議決定によって 本格整備がスタート

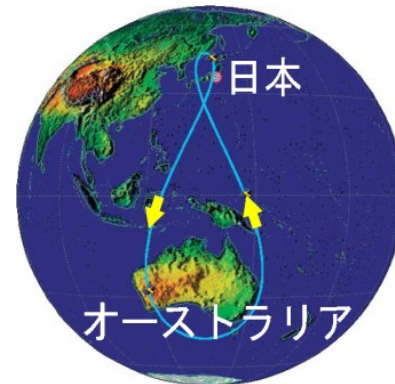
ともあれ、私たちの取り組みの努力が実って2011年9月30日に「2010年代後半を目途にまずは4機体制を整備する。将来的には持続測位が可能となる7機体制を目指すこととする」という閣議決定が行われました。

この閣議決定の後、2012年度予算では100億円の予算が付きま

した。総額ですと4機で約1500億円、7機では約2300億円になる予定です。

## 衛星システムを無料で提供すれば 国際貢献にもなる

準天頂衛星が整備されれば、それでカバーできる範囲は日本だけではなく、南北は中国からオーストラリアまで、東西はインドの半ばくらいからグアム島の先までという非常に広い範囲にわたります。周知のようにアジアでもスマトラ沖などでたび



日本の上空を含む8の字の軌道に4～7基の衛星を周回させます。中国からオーストラリア、地震の多発地帯である東アジア沖までが準天頂衛星の測位できる範囲にすっぽりおさまります。

たび大地震が発生し、津波の被害でも非常に多くの犠牲者が出ていますが、カバーできる範囲に位置する東アジアやオセアニア各国にも大震災等の被害を小さくするために、無料で準天頂衛星を提供するなら我が国としては大きな国際貢献が行えることにもなるのです。

今後、首都直下型地震あるいは大津波を伴う大地震が近い将来に起こらないとも限りません。早期に準天頂衛星の整備を終えて危機に備えるように取り組んでいます。



宇宙飛行士の山崎直子さんが帰還のご挨拶にお越しくございました。宇宙開発の可能性を確信するとともに、宇宙飛行士のコミュニケーション力の高さが印象的でした。

## 大島事務所では大学生のインターン（研修生）を受け入れています。事務所で働いた彼らの感想が寄せられましたのでご紹介します。

### 1さん（W大学法学部2年生）

「政治家って、どんな人なのだろう？どんなことをしているのだろうか？」そんなふとした疑問から、わたしは大島あつし事務所でインターンをさせていただきました。

インターンに参加する人にはいろいろな人がいました。議員志望の人、政策秘書志望の人・・・わたしはそういった人たちとは正反対で、政治にはさほど関心がなく、政治家に対しても、正直あまりいい印象は持っていませんでした。

しかし、実際の政治家の活動は、わたしの想像していたものとは全く違いました。動く。とにかく動く。ひたすら動く。代議士は国会見学ツアーで、参加者の方に対し自ら国会内を案内し、昼食を共にし、地元の情勢や日々の業務についてお話しする。そうかと思えば、総務副大臣として官僚の方と意見交換をしたり、会合に出席したりする。そうかと思えば地元で有権者と接し、早朝から駅頭に立ったりする。秘書の方も、早朝から駅頭に立ち、事務所で事務作業をし、支援者の方のお宅を訪問し、人手が足りないと思えば

自ら一軒一軒ポスティングをする。代議士と事務所の方の仕事内容の多さと幅広さ、そしてその大変さは並大抵ではないものがありました。

そして、大島事務所の方々是非常に地元を大切にしている、ということをその活動内容から感じました。わたしの政治家に対する以前の印象は、政治家は国民の信頼を得て選ばれている、という根本的なことを失念した虚像であったことに、気づかせてくださりました。

また、政治的なことばかりでなく、社会人としての立ち振る舞いの仕方も学ばせていただきました。この2か月間で、大学生活では学べないようなたくさんのお話を学び、そして大切な思い出を作らせていただきました。以前は興味がないから、と読み飛ばしていた新聞の政治面ですが、今では一番とっていいほど丁寧に読むようになるなど、今回のインターンで以前の自分とは違う自分になれたことを実感しています。

